

交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

個人優勝は予想外でした



高校囲碁県大会個人・団体優勝
宮本 学さん(17)
下新田町



第二十七回全国高校囲碁選手権大会群馬県大会の個人戦男子で見事に優勝。また、団体戦では前橋清陵高の主将として、同好会から部に昇格して一年に満たない同校を二連覇へ導いた。「団体優勝が決まった後、個

人戦最後の対局。相手はわたしより段位も低く、リラックスして対戦でき勝てました。個人戦の順位は団体戦の成績も影響するので、優勝はしばらくしてから分かったんです。団体戦に集中していたので、個人優勝は考えてもいませんでした」

囲碁を始めたのは中二の終わりころ。父親に教えてもらったことが、きっかけになった。「父とは小学生のときから将棋をしていて、中学に入ると父より強くなってきたので、次は囲碁をやってみようと思ったんです。毎日、暇があれば本を読んで勉強し、その後、市内の碁

会所へ自分一人で通うほど熱中しました。六十歳以上の人はかりの中でもまれたから、上達したのかなあ」

七月二十二日から始まる全国大会に向け、週三、四回ある部活の時間も以前より延長し、練習にも熱を入れている。

「昨年の全国大会は団体戦のみの出場で初戦シードの後、二回戦で敗戦。今年はまず団体での一勝が目標です。でも、囲碁は大きな番狂わせが少ないから対戦相手次第なんですよ」

現在三年生。授業では数学や物理、化学が好き。冷静に先を読むことができる若者だ。



市有施設巡りで 充実の一日

古市町二丁目・山口タツ子 67

夫が自治会の組長を引き受けることになり、手始めの勉強にと、市有施設の見学会に夫婦で参加しました。総合福祉会館は周辺住民の避難場所にもなっていて、地下倉庫に三百人分の食品、毛布などを備蓄していると

のことでした。ほかにも重度障害者が寝たまま利用できるトイレや五百席を有するホールもあり、その充実ぶりにびっくり。より多くの市民が積極的に利用してほしいと思います。

また、大室古墳群では並んだ墳輪が折からの雨にぬれ、呼吸をしているように感じました。残る古墳の全面改修工事が待たれます。広域消防本部では、水道局と同じように二十四時間、モニター画面から目を離さず、あらゆる不測の事態に備えているとのことでした。

参加者から感謝や驚きの言葉が口々に出て、充実した一日となりました。

まちのニュース



関根町

世代間交流の れんげ祭り



関根町自治会では五月五日、赤城神社北側の畑を会場に「れんげ祭り」を開催。世代間交流を目的に、今年で二回目です。満開のレンゲで甘い香りが漂う会場は、お年寄りから子どもまで、多くの人が集まり、花摘みや輪投げに興じました。その後は焼き肉や焼きそばの食事会。満開のレンゲの中、みんなで食べる昼食は格別です。連休の思い出など、話が弾みました。

萩原清太郎自治会長は、「わたしが子どものころは、こうしてレンゲ畑の中で遊んだものです。これを機に、より楽しく暮らせる町づくりを進めたいと思います」と語っていました。